

結核の発病リスクチェックリスト(施設利用開始時)

- ◆ 利用者全員の結核の発病のリスクを正確に把握することが大切です。
- ◆ このチェックリストを参考に、施設利用開始時に利用者の発病リスクをもれなく把握しましょう。
- ◆ 変更がある場合は、その都度日付を入れてチェック・修正をしましょう。

氏名	様	男 女	年 月 日生 () 歳	事業所名					
利用開始日	年 月 日			記入日	年 月 日	記入者	印	責任者	印

▼「あり」にチェックが多いほど結核の発病リスクが高い状態です。

					結核の発病リスク	
結核の既往	1	結核の既往歴	なし	あり	時期:(年頃・ 年前) 診断名:() 治療歴:治療完了・未治療・治療中断・その他	
	2	結核の発病予防の内服治療歴 (潜在性結核感染症の治療歴)	なし	あり	時期:(年頃・ 年前)	
	3	最近の結核感染(2年以内)	なし	あり	時期:(年 月頃) 結核患者の続柄:(同居・別居)	15倍
	4	結核の家族歴	なし	あり	時期:(年頃・ 年前) 結核患者の続柄:(同居・別居) 診断名:()	
合併症・身体症状	5	HIV感染者(エイズ患者)	なし	あり	時期:(年頃・ 年前)	50~170倍
	6	臓器移植(免疫抑制剤使用)	なし	あり	時期:(年頃・ 年前)	20~74倍
	7	けい肺(じん肺の一種)	なし	あり	時期:(年頃・ 年前)	30倍
		その他の慢性呼吸器疾患	なし	あり	時期:(年頃・ 年前) 診断名:()	
	8	慢性腎不全 腎移植 血液透析の治療	なし	あり	時期:(年頃・ 年前)	37倍
			なし	あり	時期:(年頃・ 年前)	
			なし	あり	時期:(年頃・ 年前)導入	
	9	胃切除	なし	あり	時期:(年頃・ 年前)	2~5倍
	10	糖尿病の治療 血糖コントロール不良(HbA1c > 7.0%)	なし	あり	時期:(年頃・ 年前) 治療:(経口血糖降下薬・インスリン療法)	1.5~3.6倍
			なし	あり	検査値:BS=(mg/dl)、HbA1c=(%)	
11	低体重(BMI < 20) 最近6ヶ月間の10%以上の体重減少	なし	あり	BMI=()=体重[kg] / 身長[m] ²	2~3倍	
		なし	あり	体重:()kg / 身長:()m		
12	喫煙歴	なし	あり	※B指数=1日()本 ×()年間 現在も喫煙中・現在は禁煙(年前~)	1.5~3倍	
13	低栄養(血清アルブミン値 < 3.5g/dl)	なし	あり	検査値:血清アルブミン値(g/dl)		
14	悪性新生物(がん)	なし	あり	時期:(年頃・ 年前) 診断名:()		
使用薬剤	15	リウマチの治療 (生物学的製剤の使用)	なし	あり	時期:(年頃・ 年前) 薬剤名:	4倍
	16	ステロイド(副腎皮質ホルモン)	なし	あり	時期:(年頃・ 年前) 薬剤名:(経口・吸入)、投与量:()	2.0~7.7倍
	17	その他の免疫抑制剤	なし	あり	時期:(年頃・ 年前) 薬剤名:	2~3倍

施設利用開始時および年1回以上の定期健康診断

- ▶ 異常所見がある場合は、早めに医療機関を受診し、確定診断のための精査が必要です。
- ▶ 陳旧性結核病変がある場合は、経年的に比較読影するため、胸部X線写真の確保をしましょう。

胸部X線検査	日付								
	X線写真所見								
	備考								

毎日の健康観察チェックリスト（全体用）

事業所名

記入者	印	責任者	印
-----	---	-----	---

- ◆ 高齢者は症状が出にくいことに加え、自ら症状を訴えないことが多いため、職員はできるだけ早く「いつもと違う」ことに気づくことが重要です。
- ◆ 咳（せき）は、他人への感染源となりますので、咳症状がある利用者にはサージカルマスクを着用してもらいます。
- ◆ 結果を個人用チェックリストに写し、症状の経過を見ていきましょう。

年月日（ ）		呼吸器系の症状					全身症状				全体の印象		その他		
		1 咳 (せき)	2 痰や血 痰(たん)	3 胸痛	4 頻回 呼吸	5 呼吸 困難	6 発熱 37.5℃以上	7 低体温 36.0℃未満	8 食事が ない 食事摂取 量	9 全身の 倦怠感	10 寝汗	11 なんとなく 元気がない	12 活気が ない	13 備考	
1	様														
2	様														
3	様														
4	様														
5	様														
6	様														
7	様														
8	様														
9	様														
10	様														

確認印

嘱託医へ報告
医療機関受診

毎日の健康観察チエックリスト（個人用）

事業所名 _____

記入者

印

責任者

印

- ◆ 医療機関受診が必要な時：①下記の症状が2週間以上続く場合、②年1回以上の定期健康診断（胸部X線検査）で異常がみられた場合
- ◆ 「結核の発病リスクチエックリスト（施設利用開始時）」にて、「あり」にチエックが多い利用者については、特に注意して観察しましょう。

氏名	様	男・女	年	月	日	日生	()歳	利用開始日	年	月	日	平熱	℃	体重	(測定日: / /)	kg	(前月比	kg)
----	---	-----	---	---	---	----	------	-------	---	---	---	----	---	----	-------------	----	------	-----

年	月	日付							備考																					
		1	2	3	4	5	6	7		8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
呼吸器系の症状	1																													
	2																													
	3																													
	4																													
	5																													
全身症状	6																													
	7																													
	8																													
	9																													
	10																													
全体の印象	11																													
	12																													
その他	13																													
																			確認印											

結核患者が発生したら(高齢者施設)



症状が2週間以上続く場合
(別紙)チェックリスト

年1回以上の
定期健康診断
(胸部X線検査)

医療機関 受診

結核の診断

結核の治療開始

(3~4種類の内服薬を6~9ヶ月間)

他の人にうつす
可能性なし

他の人にうつす
可能性あり

通院治療

入院治療

結核指定
医療機関

県立
宮古病院

他の人にうつす
可能性なし

治療終了

保健所

管理検診の実施

6ヶ月ごとに、おおむね2年間
胸部レントゲン検査など

管理終了

保健所は、再発のおそれ
なくなるまで患者の支援を
行います。

毎日の健康観察
定期健康診断の受診

【 症状がある利用者への対応について(結核が疑われる場合) 】

- 咳や痰のある利用者にはサージカルマスクを着用してもらいます。
- 独立換気の個室にうつし、他の利用者との接触をさけます。
- できるだけ早めに医療機関を受診できるよう調整してください。
- 対応する職員はN95マスクを着用してください。

【 患者の使った部屋や物品について 】

結核菌は、加熱や直射日光(紫外線)に弱い菌です。

- 部屋は窓を開けて十分に換気します。
- 使用済みのティッシュなどは、ビニール袋に密封し処分します。
- リネン類は、日光に当てて干せば、特別な消毒は必要ありません。
- 通常の掃除や洗濯、食器洗いを行えば、大丈夫です。

医療機関

診断した医師が
直ちに結核発生届



高齢者施設

保健所

施設長及び
施設内感染対策委員会に報告

指示
依頼

保健所の指示のもと、
適切な対応をお願いします。

調査(結核患者・利用者の情報)

- 施設の概要・環境
- 職員の健診状況
- 施設における患者の情報
- 接触者名簿作成の依頼
(利用者、職員、訪問者等)

周りへの感染のおそれを判断

接触者健診

必要あり

必要なし

接触者健診の実施

終了

毎日の健康観察
定期健康診断の受診

感染していない、又は発病のおそれ
がないと判断されるまで

観察終了

毎日の健康観察
定期健康診断の受診

結核は、治る病気です。
不規則な内服で「耐性菌」を作ら
ないために、内服薬の確認など服薬
支援の協力をお願いします。

治療終了後2年間は、再発しやす
いと言われています。
注意深く毎日の健康観察をしてく
ださい。(別紙)チェックリスト

